

## 歌でつなぐ思い出、人と人

9月20日、西方にある町指定文化財「服部屋敷」を会場に、楽友茶ふれあい音楽コンサート「歌の風景」(町教委後援)が開かれました。

これは、福祉施設などで音楽を通してふれあい活動が続いているボランティアグループ「B36☆Team T」(野村妙子さんら)が企画したもので、服部屋敷での開催は今回で10回目。

コンサートはピアノの伴奏に合わせ、参加者も一緒に歌う形のもので、会場には約百名が集い、月の沙漠や浜辺の歌、高校三年生など、童謡や唱歌、青春歌謡の懐かしのナンバーを歌いました。昭和の古写真も投影され、伝統的な建物に思い出を乗せた歌声が響きました。

## カウアイ島を親善訪問しました



▶カウアイ郡長(前列中央左)を表敬訪問しました

昭和38年から姉妹島交流を続けているハワイ州カウアイ島に、9月25日から15名が親善訪問を行いました。

一行は、カウアイ郡庁舎において、ベルナード・ガバリオカウアイ郡長を表敬訪問し、参加者の紹介や近況報告などで友好を温めました。

カウアイ日本文化祭では、カラオケ、茶道、華道などで賑わう中、周防大島町からは特産品のサービスや大道芸、スポーツ吹矢の体験などで参加し、祭りを盛り上げました。

また、カウアイ在住の方々との交流会も開かれ、心温まる歓迎を受けました。



◀会場には百歳を迎える方の姿も

地域おこし協力隊  
三浦宏之

## 「お役に立てれば、幸いです。」 32

定住促進協議会日良居分室

☎0820(73)0234

9月に東京・大阪で開催された「ふるさと回帰フェア」。周防大島町定住促進協議会のブース出展をお手伝いした3年間で、今年は来場者に大きな変化を感じました。

昨年までは周防大島を知らない人に足を止めてもらうのに一苦労しながら周防大島の魅力を語るのに一生懸命だったのに対し、今年は周防大島の情報を求めて来てくださる人が多かったのです。相変わらず多いのは、職に関する質問ですが、フルタイムの定職を求めるのではなく、パートタイムである程度の収入を得ながら自分の時間をつくり、起業や就農の準備に充てたいと考える人が多くなったのも大きな変化だと思えます。また、徳山や岩国といった県内の都市部出身の方がUターンではなく、自然環境の豊かな周防大島へのJターンを考えているという話も多く聞きました。

今月末から開催される一泊二日のお試し暮らしツアーへのお

申し込みも多くいただきました。周防大島で再び出会い、この島の空気を感じながらお話しできることを楽しみにしています。

毎月恒例の海岸清掃「島くらす海そうじ」、次回は10月31日(土)午後4時半より長浜の海岸で行います。お試し暮らしツアー参加者の皆さんと交流しながら海岸のゴミを拾いたいと思います。移住希望の方々が抱く周防大島での暮らしに関する様々な疑問にお答えいただけるとうれしいです。みんなの笑顔で歓迎してください。



▲ふるさと回帰フェアの様子

【P8ちよび塩クイズ答え：2個程度 みかんには、ビタミンCやクエン酸といった体に良い栄養成分が豊富ですが、果糖も多く、食べ過ぎは体重や中性脂肪の増加につながります。】